

平成29年度 事業別予算概要

事業名	31300	養護老人ホーム委託事業費	会計	1	一般会計	基本分野	4	福祉・保健	根拠計画	高山市老人福祉計画・介護保険事業計画	市長公約
			款	3	民生費	個別分野	3	高齢者福祉	実施計画事業	養護老人ホーム委託事業	
担当課		福祉部 高年介護課	項	1	社会福祉費	施策の概要	1	住み慣れた地域での生活の支援	H29実施計画額	148,000 千円	
		内線 2953	目	3	老人福祉費						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上で居宅における生活が困難な方	どうしたいのか(意図)	身体、精神、環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難となった高齢者を保護施設(養護老人ホーム)等に措置し、安定した日常生活を送れるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	・入所措置が必要とみなされる方を老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の可否の判定を依頼する。 ・入所措置判定者を養護老人ホーム等に入所委託する。
	対象者数	60 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	居宅において養護を受けることが困難となった高齢者で入所措置が必要とみなされる方に対して、老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の可否の判定を依頼。入所措置の判定者を養護老人ホームに入所委託した。										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		措置入所判定件数		件	目標値	10	10	10	10	10	10
		算出根拠等			実績値	3	-	-	-	-	-
		新規措置入所者数		人	目標値	30	10	10	10	10	10
		算出根拠等			実績値	4	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	40	-	-	-	-	-
	成果指標	延べ措置入所者数		人	目標値	684	684	684	684	684	684
		算出根拠等			実績値	655	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	96	-	-	-	-	-
		算出根拠等			目標値						
		算出根拠等			実績値						
		算出根拠等			達成率(%)						

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	生活環境の変化や高齢者福祉サービス、在宅及び介護施設サービスの利用等により、在宅で自立した生活を継続できるようになったため、養護施設への入所のニーズは、減少傾向にある。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	○ 維持・改善	・居宅において養護を受けることが困難となった措置が必要な高齢者を把握し、老人ホーム入所判定委員会の結果により入所措置を実施している。 ・入所者が高齢化し、要介護(支援)者が増加しているため、高山八寿会と連携しながら施設で対応できない入所者については特別養護老人ホームへの入所に切り替えを行う。
次年度の担当課の考え方	○ 拡大	・老人福祉法に基づき、身体、精神、環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難となった高齢者を保護施設(養護老人ホーム)等で安定した日常生活を送れるよう措置を行う。
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	144,652	143,510	148,451	150,702
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,583,071	2,657,593	2,604,404	2,643,895
	受益者	措置入所者	(B)	56	54	57

5 予算編成 (Action2)

事業内容	老人福祉法に基づく養護老人ホーム等への入所措置	要求のポイント	養護老人ホームへの入所委託に要する経費を計上	事業実施の課題
------	-------------------------	---------	------------------------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	148,451	150,702	2,251	150,631	150,631	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	28,500	28,000	△ 500	26,300	26,300		
一般財源	119,951	122,702	2,751	124,331	124,331		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	31305	高齢者在宅生活支援事業費	会計	1	一般会計	基本分野	4	福祉・保健	概観計画	高山市老人福祉計画・介護保険事業計画	市長公約 社会福祉の充実を目指し、サポーターやボランティアの育成、潜在的保育士・看護師(結婚などで家庭に入っている有資格者)の登録制度などを進めます。
			款	3	民生費	個別分野	3	高齢者福祉	実施計画事業	高齢者在宅生活支援事業	
担当課		福祉部 高年介護課	項	1	社会福祉費	施策の概要	1	住み慣れた地域での生活の支援	H29実施計画額	3,800 千円	
		内線 2953	目	3	老人福祉費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上の高齢者	どうしたいのか(意図)	支援が必要な高齢者に対し、日常生活に関する支援を行うことで、在宅での生活を継続することができる。	概要	事業の実施手法(手段)	介護保険の短期入所サービスの支給限度額を超えた利用に対する利用者負担の一部償還払いや、簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員の派遣による援助など、支援が必要な高齢者に対し介護保険サービス以外の日常生活の援助を行う。
	対象者数	27,769 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	①短期入所付加サービス:ケアマネを通じた申請や該当者からの直接の申請を受けて助成 ②軽度生活援助:簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員の派遣による援助 ③日常生活用具:要介護高齢者及び高齢者世帯等に、日常生活用具を給付又は貸与 ④外国人福祉給付金:無年金の外国人高齢者等に福祉金を給付 ⑤寝具洗濯乾燥:寝具の衛生管理が困難な高齢者等に寝具の洗濯乾燥消毒サービスを提供 ⑥社福減免:社会福祉法人が行う介護サービスを利用する低所得者の入所費用自己負担の一部を助成									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		社会福祉法人による介護保険サービス利用者負担軽減認定者数		人	目標値	25	25	25	25	25
					実績値	19	-	-	-	-
		算出根拠等		給付実績	達成率(%)	76	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	短期入所付加サービス実利用人数		人	目標値	35	35	14	14	14
					実績値	9	-	-	-	-
		算出根拠等		利用実績	達成率(%)	26	-	-	-	-
					目標値	70	55	55	55	55
					実績値	73	-	-	-	-
		算出根拠等		利用実績	達成率(%)	104	-	-	-	-

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のみの世帯や独居の高齢者の増加に伴い、対象者が増えることが見込まれる。 虚弱な高齢者をすべて把握することは困難であるが、それらの方の把握に努め、在宅を継続するためには、どのような支援が必要となるのか検討する必要がある。 利用者が少ない事業については要因を分析しながら、市が継続して実施する必要があるかどうかを検証する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーや民生児童委員へ事業を周知し、ニーズの把握に努める。 事業の活用が高齢者の在宅生活の継続につながっていることから事業の必要性はあるものの、ニーズが少なく利用者が固定化している事業もあることから、事業のPRを行い利用の拡大に努める。 	
次年度の担当課の考え方	○維持・改善	
	拡大	介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、介護予防・日常生活サービス事業への移行を含めた調整を行う。(軽度生活援助)高齢化の進行により、高齢者世帯や独居高齢者が増加し、安全に生活できるよう、ニーズに応じた内容で事業を継続する。
	縮小	ニーズが少なく利用者が固定化している事業については、事業のPRを行い利用の拡大に努める。
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	3,621	2,388	3,305	3,230	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	135	87	119	116	
	受益者	65歳以上の高齢者	(B)	26,737	27,382	27,769	27,769

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険の給付限度額を超えて短期入所サービスの利用が必要な方への助成 支援を要する高齢者のための軽度の生活支援委託 給付対象品の購入費に対する助成 貸与対象品の購入・貸与 無年金の外国人高齢者等に対する福祉金の給付 高齢者世帯の寝具洗濯乾燥サービスの委託 社会福祉法人による利用者負担額等の軽減分の一部助成 介護老人ホーム等への短期宿泊による生活指導業務の委託 	要求のポイント	事業実施の課題
------	---	---------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,305	3,230	△ 75	3,205	3,205	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	600	750	150	600	600		
その他	150	103	△ 47	140	140		
一般財源	2,555	2,377	△ 178	2,465	2,465		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	31310	外出支援事業費	会計	1	一般会計	基本分野	4	福祉・保健	根拠計画	高山市老人福祉計画・介護保険事業計画	市長公約
			款	3	民生費	個別分野	3	高齢者福祉	実施計画事業	外出支援事業	
担当課		福祉部 高年介護課	項	1	社会福祉費	施策の概要	1	住み慣れた地域での生活の支援	H29実施計画額	23,400 千円	
		内線	目	3	老人福祉費						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上の高齢者	どうしたいのか(意図)	・高齢者が在宅で安心して自立した生活を維持できるよう、受診や在宅福祉サービス利用に必要な外出を支援する。 ・高齢者等の日常生活をサポートするため外出を支援する。	概要	事業の実施手法(手段)	・支所地域在住の単独では一般の公共交通機関の利用が困難な要支援・要介護認定者等に対し医療機関や在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を行う。 ・「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券の購入に対し、その費用の一部を補助する。
	対象者数	27,769 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	外出支援:利用対象者に対して、当事業の委託先である高山市社会福祉協議会が、通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を実施した。 地域乗合バス助成:「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券(4,110円)の購入に対し、その費用のうち2,000円の補助を実施した。									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		外出支援登録者数		人	目標値	600	600	600	600	600
					実績値	463	-	-	-	-
		算出根拠等		各年度利用実績	達成率(%)	77	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	算出根拠等			達成率(%)						
	成果指標	外出支援事業延べ利用者数		人	目標値	13,500	13,500	13,500	13,500	13,500
					実績値	9,705	-	-	-	-
		算出根拠等		各年度利用実績	達成率(%)	72	-	-	-	-
		地域乗合バス利用助成事業利用実績		人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
					実績値	906	-	-	-	-
算出根拠等		各年度利用実績	達成率(%)	76	-	-	-	-		

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・支所地域と高山地域の利用者負担の均衡について検討する必要があるが、支所地域と高山地域では、医療機関等が遠方であるなど公共交通等の実情を考慮する必要がある。 ・遠距離利用の高齢者などの利用ニーズは高いが、利用者が固定される傾向にある。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・当事業の利用目的範囲及び利用者負担、委託内容の検討を行う。 ・関係機関と連携し、当事業のPRを継続する。
次年度の担当課の考え方	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善
	<input type="radio"/> 拡大
	<input type="radio"/> 縮小
	<input type="radio"/> 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	18,388	18,299	23,400	22,060	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	688	668	843	794	
	受益者	65歳以上の高齢者	(B)	26,737	27,382	27,769	27,769

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・福祉有償運送による通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎委託 ・高齢者バス優待乗車証(悠々手形)の購入費に対する助成	要求のポイント	高齢者の外出支援に要する経費を計上	事業実施の課題	・支所地域と高山地域の利用者負担の公平性の確保
------	--	---------	-------------------	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	23,400	22,060	△ 1,340	23,400	23,400	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	3,700		△ 3,700	4,800	4,800		
一般財源	19,700	22,060	2,360	18,600	18,600		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	31315	高齢者生きがいづくり推進事業費	会計	1	一般会計	基本分野	4	福祉・保健	根拠計画	高山市老人福祉計画・介護保険事業計画	市長公約
			款	3	民生費	個別分野	3	高齢者福祉	実施計画事業	高齢者生きがいづくり推進事業	
担当課		福祉部 高年介護課	項	1	社会福祉費	施策の概要	6	生涯現役世代としての活躍の場の創出	H29実施計画額	34,600 千円	
		内線	目	3	老人福祉費						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上の高齢者	どうしたいのか(意図)	・余暇を利用した野菜の栽培や他の農園利用者とのふれあいを通じて、健康で明るく生きがいのある生活を送れるようにする。・高齢者等の健康増進や心身のリフレッシュを図る。・地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進。・敬老の日にあわせて祝品を配布し、高齢者の長寿を祝う。・高齢者福祉全般に関する事務	概要	事業の実施手法(手段)	・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園を無償で貸与する。・65歳以上及び身体障害者手帳等を所有する市民に対し、指定温泉保養施設等利用料の半額(年間20枚の助成券を交付)を助成。・高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。・安否確認のため、手渡し等による敬老祝品の配付を行う。・健康長寿ふれあいまちづくり推進委員会委員報酬、高齢者福祉全般にかかる制度周知等
	対象者数	27,769 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> 健康農園: 60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園(263区画)を254人に貸与。 温泉利用券: 毎月、一か月分の利用券を取りまとめ、補助金受領を代行する各温泉保養施設に補助した。 老人クラブ: 市連合長寿会に対する支援(会員及び各区、単位クラブに対する活動助成) 敬老祝品: 米寿の方には民生児童委員の協力を得て、訪問し安否確認とともに祝い品を贈呈 								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
	活動指標	農園利用区画数	区画	目標値	263	263	263	263	263
				実績値	263	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
		温泉保養施設等利用券交付者数	人	目標値	11,700	11,700	11,700	11,700	11,700
				実績値	11,123	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	95	-	-	-	-
	成果指標	敬老祝品贈呈者数	人	目標値	730	750	770	790	810
				実績値	660	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	90	-	-	-	-
		連合長寿会加入率	%	目標値	40	40	40	40	40
				実績値	28	-	-	-	-
算出根拠等			達成率(%)	70	-	-	-	-	
成果指標	農園利用者数	人	目標値	263	263	263	263	263	
			実績値	254	-	-	-	-	
	算出根拠等		達成率(%)	97	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値						
			達成率(%)						

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ: 高齢者数の増加に対して長寿会の新規加入者が少なくなっており、連合長寿会加入率の減、単位クラブの減が課題となっている。 健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。 各事業の事務の省力化とコスト抑制について検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 長寿会加入率・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、今後の支援のあり方について検討する。 温泉保養施設等利用助成事業は、今年度より補助額への上限の設定や利用券の配布期間を通年にするなど見直しを行っている。 民生児童委員等の協力を得ながら、高齢者の安否確認も併せて、引き続き祝品を贈呈する。 	
次年度の担当	○維持・改善	
	拡大	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。
	縮小	・温泉保養施設等利用券の交付方法については、事務の効率化について検討する。
	廃止検討	・高齢者福祉に関する制度等をまとめた「高山市の高齢者福祉」「福祉と保健」等を活用し、引き続き市民への制度周知に努める。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26決算額	H27決算額	H28予算額	H29予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	36,426	32,779	34,605	35,074	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,362	1,197	1,246	1,262	
	受益者	65歳以上の高齢者	(B)	26,737	27,382	27,769	27,796

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園を無償で貸与(岡本・下岡本・江名子・三福寺・千島) 市が指定する温泉保養施設の利用料に対する助成 高齢者の生きがいと健康づくり活動に対する助成 敬老祝品の贈呈 高山市老人福祉計画・介護保険事業計画の策定、推進 関係機関との連携調整 	要求のポイント	・高齢者の増加に伴う敬老祝品贈呈対象者の増	事業実施の課題	・単位老人クラブ数の減
------	--	---------	-----------------------	---------	-------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	34,605	35,074	469	34,395	34,395	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳			0				
国庫支出金							
県支出金	4,640	4,655	15	4,620	4,620		
その他	640	509	△131	480	480		
一般財源	29,325	29,910	585	29,295	29,295		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	31316	介護人材確保事業費	会計	1	一般会計	基本分野	4	福祉・保健	根拠計画	高山市老人福祉計画・介護保険事業計画	市長公約	社会福祉の充実を目指し、サポーターやボランティアの育成、潜在的保育士・看護師(結婚などで家庭に入っている有資格者)の登録制度などを進めます
			款	3	民生費	個別分野	3	高齢者福祉	実施計画事業			
担当課		福祉部 高年介護課	項	1	社会福祉費	施策の概要	5	介護保険制度の円滑な運営	H29実施計画額	千円		
		内線	目	3	老人福祉費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・介護職員等の資質向上 ・若い世代の介護人材の確保 ・介護事業者の自主的な取り組みの促進 ・潜在的有資格者の掘り起し	概要	事業の実施手法(手段)	・人員不足などにより介護職員の研修が受講困難な介護事業所に対する支援 ・介護職員等の資質向上に向けた研修の開催 ・介護事業者による人材確保に向けた事業に対する支援
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績									
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		成果面	活動指標	市内で開催する介護職員初任者研修の受講者数	人	目標値			90
実績値						-	-	-	-
算出根拠等				達成率(%)		-	-	-	-
	目標値								
	実績値				-	-	-	-	-
算出根拠等				達成率(%)		-	-	-	-
成果指標	研修受講支援による市内介護事業所への就労者数		人	目標値			50	50	50
				実績値		-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-
			目標値						
			実績値		-	-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	
課の考案 年度の担当	維持・改善
	拡大
	縮小
	廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26	H27	H28	H29	
		決算額	決算額	予算額	予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	4,153
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	0	0	760
	受益者	(B)	0	0	0	5,465

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市内の介護事業者から成る組織の人材確保に向けた事業に対する支援 ・介護職未経験者の介護職員初任者研修受講に対する支援	要求のポイント	介護人材確保の推進に必要な経費を計上	事業実施の課題	・事業の周知 ・活用しやすい制度設計
------	--	---------	--------------------	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			4,153	4,153	2,000	2,000	介護における人材確保に要する経費を計上	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0	500	500		
	一般財源		4,153	4,153	2,000	2,000		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	31320	高齢者等住宅改修助成事業費	会計	1	一般会計	基本分野	4	福祉・保健	根拠計画	高山市老人福祉計画・介護保険事業計画	市長公約 協働のまちづくりにより地域共助を強化し、地域全体で子どもや高齢者、子育て世帯、介護世帯、障がい児(者)などを支えられる地域環境の整備を進めます
			款	3	民生費	個別分野	3	高齢者福祉	実施計画事業	高齢者住宅改修費助成事業	
担当課		福祉部 高年介護課	項	1	社会福祉費	施策の概要	1	住み慣れた地域での生活支援	H29実施計画額	32,800 千円	
		内線 2956	目	3	老人福祉費						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	住宅改修・要介護(要支援)認定者 屋根融雪;高齢者世帯で親族等から屋根雪の除排等の支援が得られない方	どうしたいのか(意図)	高齢者が居住する住宅の改修費用及び屋根融雪装置設置費用の一部を補助することにより、日常生活に支障の少ない住宅整備を促し、住み慣れた住宅で安心して健やかな生活ができるように生活維持向上と自立の助長を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	高齢者世帯等の住宅改修及び屋根融雪装置に対する補助(相談業務及び完成検査は福祉サービス公社の委託による)
	対象者数	27,758 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	住宅改修 63件、住宅改修1割助成 165件、屋根融雪 11件										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		要介護(要支援)認定者数		人	目標値	5,176	5,325	5,465			
		算出根拠等 要支援認定者数(10/1現在及び計画による)			実績値	5,065	-	-	-	-	-
					達成率(%)	98	-	-	-	-	-
					目標値						
					実績値						
	成果指標	助成件数		件	目標値	300	300				
		算出根拠等			実績値	239	-	-	-	-	
					達成率(%)	80	-	-	-	-	
					目標値						
					実績値						
					達成率(%)						

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施工技術等の多様化により、市民が新たに補助対象として求めるものも出てきているため、事業の目的に適したものかどうかの検討が必要である。 ・高齢者の増加に伴い、助成額の増加も見込まれるため、補助金の適正な運営をしていくにあたり、受益者負担等について検討していく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の積極的な周知を行う。 ・新たに補助対象とすべきかの検討については、事業の目的との適合性、その有効性を検証したうえで対応していく。 ・受益者負担等については、経済情勢や低所得者等への配慮を踏まつつ慎重に対応していく。
次年度の担当課の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 <p>高齢化の進行により、事業のニーズの増大が予想されるため、制度の積極的な周知に引き続き取り組んでいく。</p>

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	28,564	29,445	32,830	34,870
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,068	1,075	1,183	1,227
	受益者					
	助成対象者	(B)	26,751	27,380	27,758	28,419

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の住宅改修の助成範囲を超える住宅改修費に対する助成 ・屋根融雪装置の設置に対する助成 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加による助成件数の増 ・屋根融雪装置の設置ニーズの増 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な事業を運営していくための受益者負担の在り方
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	32,830	34,870	2,040	32,880	32,880	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	32,830	34,870	2,040	32,880	32,880		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	31335	老人福祉施設整備費助成事業費	会計	1	一般会計	基本分野	4	福祉・保健	根拠計画	高山市老人福祉計画・介護保険事業計画	市長公約
			款	3	民生費	個別分野	3	高齢者福祉	実施計画事業	老人福祉施設整備費助成事業	
担当課		福祉部 高年介護課	項	1	社会福祉費	施策の概要	1	住み慣れた地域での生活の支援	H29実施計画額	11,700 千円	
		内線	目	3	老人福祉費						
		2953									

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	社会福祉法人	どうしたいのか(意図)	・老人福祉施設の整備に対し助成を行い、高齢者福祉の充実を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・特別養護老人ホーム新宮園の整備に対する元利償還金を社会福祉法人清徳会へ補助する。
	対象者数	1 団体					

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	特別養護老人ホーム新宮園の整備に対する元利償還金を社会福祉法人清徳会へ補助した。(H29まで)									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		施設入所者数		人	目標値	100	100	100	100	100
		算出根拠等			実績値	100	-	-	-	-
					達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況		
課の考え 次年度の担当	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	第6期介護保険事業計画に基づき、適正な施設整備を行っていく。
	<input type="radio"/> 拡大	
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	197,940	12,255	11,970	11,685
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	32,990,000	12,255,000	11,970,000	11,685,000
	受益者		6	1	1	1
	助成対象となる社会福祉法人数	(B)				

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・特別養護老人ホーム新宮園の施設整備費の助成(債務負担行為)	要求のポイント	事業実施の課題
------	--------------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	11,970	11,685	△ 285	11,685	11,685	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	11,970	11,685	△ 285	11,685	11,685		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	31345	老人福祉施設管理事業費	会計	1	一般会計	基本分野	4	福祉・保健	根拠計画	高山市老人福祉計画・介護保険事業計画	市長公約	市民が主役のまちづくりにおいては、高齢者世代(65歳以上)という呼称を「生涯現役世代」という呼び方に改革し、様々な活躍の場を提供します。
			款	3	民生費	個別分野	3	高齢者福祉	実施計画事業	老人福祉施設管理事業		
担当課		福祉部 高年介護課	項	1	社会福祉費	施策の概要	6	生涯現役世代としての活躍の場の創出	H29実施計画額	106,800 千円		
		内線	目	3	老人福祉費							
		2953										

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上の高齢者	どうしたいのか(意図)	老人福祉施設の適切な運営及び維持管理をすることで、老人福祉施設利用者等の安全快適な施設利用の促進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営、維持管理業務を指定管理者に委託。施設の維持管理・改修、老朽化による備品更新。
	対象者数	27,769 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営、維持管理業務を指定管理者に委託。 指定管理料:高山市老人デイサービスセンター等 62,857,000円、国府福祉センター 9,550,000円、高山市丹生川・久々野・国府いこいの家 5,327,000円、昭和老人福祉センター(福祉課) 7,509,000円、ふれあい老人いこいの家(子育て支援課) 945,000円 計 86,188,000円 土地借上料:丹生川福祉センター分 605,696円 施設改修等:上室デイサービスセンター空調熱源機器更新ほか									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		施設数(指定管理)		か所	目標値	22	22	22	22	22
		算出根拠等			実績値	22	-	-	-	-
					達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
					達成率(%)	-	-	-	-	-
		モニタリング調査による各施設の管理運営の満足度(平均値)		%	目標値	80	80	80	80	80
		算出根拠等		調査結果による普通以上の満足度	実績値	96	-	-	-	-
			達成率(%)	120	-	-	-	-		
			目標値							
			実績値	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000		
			達成率(%)	117	-	-	-	-		
			目標値							
			実績値	64,530	-	-	-	-		
			達成率(%)	-	-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理により事業効率化やコスト縮減等が図られており、民間に蓄積されたノウハウを活かした円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理が今後必要である。 施設の老朽化により改修箇所が増加傾向にある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務のモニタリング調査や事業評価を実施する中で、円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理に努めている。 整備計画に基づき、施設の改修を行う。 	
次年度の担当課の考え方	○ 維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の増加に伴い施設利用の増加が見込まれる中、地域の老人福祉の増進の観点から、引き続き実施していく。 安全対策及び利便性の向上を図るため、整備計画に基づき施設の改修を行う。
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	231,240	102,566	115,196	120,617	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8,649	3,746	4,148	4,344	
	受益者	65歳以上の高齢者	(B)	26,737	27,382	27,769	27,769

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉施設の適切な運営及び維持管理 施設の維持管理・改修、老朽化による備品更新 	要求のポイント	老人福祉施設の運営及び修繕に必要な経費を計上	事業実施の課題	老朽化に伴う改修の増加
------	---	---------	------------------------	---------	-------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	115,196	120,617	5,421	119,416	119,416	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	804	804	0	804	804		
一般財源	114,392	119,813	5,421	118,612	118,612		